

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市藤心地域ふるさと協議会
日 時	令和元年6月8日（土）午後1時30分～3時30分
場 所	藤心近隣センター 会議室A・B
参加者	ふるさと協議会役員等 : 14名 地域づくり推進部長 : 1名 藤心近隣センター所長 : 1名 地域支援課職員 : 6名 地域づくりコーディネーター : 2名 合計 : 24名
次 第	別紙のとおり
意見 交換	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結局組織は人なので、楽しい組織ができる（難しい点もある）が、人をどのように集めるかが一番の問題。</li> <li>・自我が強いとやりにくい。嫌ならやめてしまう。70才まで働いてボランティアは難しいことが、担い手不足につながっている。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の手が足りない。</li> <li>・直近の課題は以下のとおり。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①町会活動をやりたくないから班を解散してしまうこと。</li> <li>②地域支援課・防災安全課・社会福祉課などの複数の部署が町会活動に関わってくること。</li> <li>③民生委員の推薦を町会長に振られていること。（これは人脈やつながりがないと不可能だと思う。）</li> </ol> </li> <li>・防災関係の業務は、3役(防災担当・会計・町会長)で分担しているからこなせている。</li> <li>・町会長の負担が大きいので、毎日、町会長の記録を日課としている。次の町会長に引き継ぐ役員負担を軽減することが一番。</li> <li>・防犯の面では住民のモラルが守られており、藤心第一町会は恵まれている。</li> </ul> <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役所の横のつながりの関係で把握できていないことがある。<u>なんでも町会にお願いしている点を精査していきたい。</u></li> <li>・防犯や防災でも自助や共助が大切であることは理解している。</li> </ul>

#### ふるさと協議会役員

- ・新住民（昭和50年代）新しい地域社会やふるさとをつくることを目的としてふるさと協議会ができたことは理解している。これから担い手をリクルートしたりお誘いする際も、ふるさと協議会のアイデンティティーや求心力は何なのかが大切になる。
- ・町会でさえもあやふやな存在なのに、ふるさと協議会とは何なのか知りたい。ふるさと協議会の本質や目指してるもの、現代の課題を踏まえた核心的な部分を知って今後の活動のバックボーンとしたい。

#### 柏市職員

- ・昭和50年代後半に新住民に対して、柏市を想うための活動としてふるさと運動が生まれた。当時は市内17エリアに近隣センターを建てて、ふるさと協議会を立ち上げた。
- ・地域ごとにより良い地域づくりが求められており、昔はコミュニティやつながりをつくるためにお祭りや文化祭、体育祭などの行事に取り組んでいたが、現在では防犯・防災、支えあい、子育て支援などの新たな課題がある。

#### 柏市職員

- ・ふるさと協議会のPRが足りないこともあるので積極的に取り組んでいきたい。

#### ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会の役割が明確に書かれている物が何もない。町会の上にふるさと協議会が位置しているような間違っただイメージを持たれがちで、ふるさと協議会が何かしてくれると思われることは問題。ふるさと協議会は町会の下になって、町会が動けないところを手助けしたり支援するための団体。

#### ふるさと協議会役員

- ・自治会役員からふるさと協議会を抜きたいという声があった。（イベントに駆り出されて大変な思いをしたことが理由。）
- ・町会・自治会は顔の見える関係で、イベントなど集まりもよく、いい雰囲気だが、ふるさと協議会で同じ関係をつくることは難しい。

- ・敬老のつどいがあるが、毎回満足なのか時間があるから来るのかわからない。80%が不参加だが理由が分からないので、参加した人の意見をデータ化して、継続の有無について判断することも必要。
- ・魅力あるイベントをやるためには、自己満足で終わらせずにどうだったか振り返りをきちんとすることが必要。
- ・今住んでいる地域を「終の棲家」だと考えている人が多いと思う。
- ・地域支援課がふるさと協議会を支援していて、どういう反応があるのか、ふるさと協議会のメリットを知りたい。

#### ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会は素晴らしい。役員も偉そうな人がいなくて素晴らしい。
- ・グリーン団地町会が高齢化に伴って90才の人も役員を務めている。
- ・町会内で隣近所で挨拶をしたり交流ができる雰囲気を作りたい。  
(K-net などもあるが、助け合いの気持ちを持てるように。)
- ・市にお金がないことは分かっているが、空家を活用したい。
- ・担い手不足が深刻であり、自分自身も3つのボランティアに取り組んでいる。町会長をやって勉強になり、やって良かったと思っている。
- ・市民大学講座などを設けてボランティアの素晴らしさを伝えて、歳をとってからどう生活を充実させるかを考えてもらうことも検討してもらいたい。
- ・町会のサロンなどで補助金を活用してバスを借りて、日帰りで出かけることで、コミュニケーションがとれることもある。

#### 柏市職員

- ・通いの場の補助金は、運営費を一部補助する形で社協が用意しているものがあり、主に市民団体やNPOが活用している。

#### ふるさと協議会役員

- ・市社協からは藤心ふるさと協議会にも運営経費として、年6回以上で2万円、年11回以上で3万円の補助金が出ており、14団体で38万円の経費をもらっている。
- ・7月3日にふるさと協議会の日帰りの視察研修があるが、今回は

75,000円が市から補助される。町会の行事でも補助の対象になると思う。

- ・ふるさと協議会の原点は町会長が顔を合わせて情報交換をする連絡会や町会の連合体をつくること。
- ・ふるさと協議会執行部が町会を動かすのではなく、町会がふるさと協議会執行部を動かさないといけない。例えば、お祭りは町会でできなくなってきたので町会間の格差を埋めるためにふるさと協議会で主催して行うようにしている。
- ・ふるさと協議会会長がいなくなった経緯は、松原氏が一度再任したが、度重なる再任を避けるためにあえて会長の役職をなくして、一旦リセットさせた。会長は細々したことはせずに市や内部の会議・挨拶・采配だけすればいいような役割にしたい。以前はスーパーマンのような会長がいたが、自分で何でもできるので、その後が続かない。
- ・町会から良い人材を集めて、ふるさと協議会の事務局をしっかりとさせることが大切。
- ・行事が負担なら簡素化させるしかない。
- ・敬老のつどいは転機を迎えており、サロン活動に経費をまわすことも考えていきたい。

#### ふるさと協議会役員

- ・社協からの助成金はサロン活動だけでなく、青少年達に向けた活動にも割り振ることも必要。

#### ふるさと協議会役員

- ・ふれあい広場（子育てサロン）にも助成金が使われている

#### ふるさと協議会役員

- ・イベントは5W1Hを意識して実績を残すこと、みんなが具体的な業務を理解できるようなマニュアルづくりが必要。
- ・ふるさと協議会執行部は活動に慣れているため、1年交代の町会長たちを引張るような形になってしまう。

#### ふるさと協議会役員

- ・町会員が町会に対してどれだけの信頼を寄せているか。町会と住

民の断絶、町会とふるさと協議会の断絶が起こっている実態を考えないといけない。町会からふるさと協議会への負担金も必要性を疑問に思う声もある。

- ・地域住民と市の間で、接点が無いのでどういう運営ができるのか。住民の考えだけでは賄えないのが現実で、限られた人がいくつも役割を持っている。やらない人は何もやらない。

#### 柏市職員

- ・町会の加入率は毎年少しずつ下がっており、昔のように町会に入るのは当たり前という時代ではなくなってきている。
- ・市としては、町会は大切なパートナーだと考えており、町会活動が身近なものであると知ってほしい。まずはふるさと協議会や町会を理解してもらうことが大切であり、チラシやHP、広報紙等で少しずつだが取り組んでいる。

#### ふるさと協議会役員

- ・豊四季台近隣センターのシルバー人材センター職員がふるさと協議会を知らなかった。

#### 柏市職員

- ・モデル事業として、とあるふるさと協議会で若い世代（小中学生の親）に対して実施したアンケート調査の中に「ふるさと協議会を知っていますか？」という設問を設けたが、「知っている」と回答したのは約4割だった。
- ・活動イメージを伺う項目では、「高齢者ばかり」「提案しづらい」といった意見が多数見られたことから、これからもPRが必要となる。

#### ふるさと協議会役員

- ・民生委員を2期満了し、3期目に入ろうとしているが、高齢化で町会の活力低下は著しい。一方で若い人は忙しく町会活動どころではないのが現実。役員決めも結局はくじ引きで決めることになる。
- ・町会やふるさと協議会に入ることに對するメリットに疑問を持つ人が増えており、外注することや報酬を設けることも考えた方がよいらうか。
- ・海外のコミュニティ作りなども参考にしてみてはどうか。

ふるさと協議会役員

- ・防犯灯やゴミステーションの管理体制などで、「町会がなくなったら」という想定で町会がなくなった不便さを伝えることも大切。
- ・町会費は支払うけど活動には参加しない。ゴミは出したい。という方にはどう対応すればよいか。

ふるさと協議会役員

- ・市は色々と立ち上げるが結局は町会まかせなことがある。K-net もいつの間にか民生委員が関わるようになっており、町会の業務になっている。
- ・市からどんどん仕事が地域に降りてきており、地域は人もお金もないので身動きがとれないでいる。

ふるさと協議会役員

- ・K-net は役員が替わると個人情報を含んだ名簿を引き継ぐことになっているが、それでプライバシーの管理はできているのか。

柏市職員

- ・K-net は立ち上げたが問題点があるのが現状。社会福祉課に伝えて今後の方針についても考えていきたい。

ふるさと協議会役員

- ・防犯灯なども町会の業務であることを、町会に入らない方々に市から強く言って欲しい。市の方が説得力がある。
- ・支えあいの対象は高齢者や子どもを想定しているようだが、家庭環境等に問題を抱える中高年の支援も必要ではないか。

柏市職員

- ・高齢の方のケアは名簿もあり、民生委員や地域包括、社協などが関わっており体制は整っている。
- ・全世代のケアについては社協のいきいきセンターの相談窓口で対応可能だが、深刻な場合は保健所の総合福祉相談窓口も利用可能。

ふるさと協議会役員

- ・市は家庭内のDVや引きこもりに対してどのように対応している

のか。

ふるさと協議会役員

- ・警察に相談窓口があるので、相談があればリスト化されて警察が動いてくれる体制がつけられている。

柏市職員

- ・近所の方からの情報がないと市や保健所は全く動けないので、通報してもらうことが大事。子どもも同様だが、共依存などがあり実態が把握できず、勝手な判断で入ることが難しい。

ふるさと協議会役員

- ・まとめとして、時代の風潮が変わってきたことが言える。自己の生活でいっぱいになってきていることをふるさと協議会でも把握していかななくてはいけない。
- ・K-net については、防災時のことはあまり考えられておらず、登録の有無に関係なく同じ高齢者の被災者として対応していくこととなるだろう。
- ・支えあいについては、自己生活できない人の生活支援が中心となる。
- ・役員の負担を軽くすることについては、文書の受付事務くらいであればアルバイトを雇うことなどを検討したい。
- ・PTAやおやじの会などの方々とも理解を深めて、力を借りていきたい。
- ・報酬を出すことについては、補助金などが事務局への手当に使用できるよう明確な内訳を出してくれれば、活用したい。
- ・町会はプラス10以外の事業補助がなく、ふるさと協議会は120万円の補助が出ている。ふるさと協議会や市社協の補助金を活用して欲しい。

ふるさと協議会役員

- ・防災のガイドラインを作りたいと思っている。ふるさと協議会が災害時の実働部隊と言われているが、それは不可能。訓練を行うだけなら可能だろう。

ふるさと協議会役員

- ・逆井町会と柏楽園町会は、お祭りと敬老会の両方を実施している

が、ふるさと協議会で実施しているものとダブるので議論になる。

#### ふるさと協議会役員

- ・逆井町会は逆井町会主催と藤心ふるさと協議会主催，南部ふるさと協議会主催の3つの夏祭りに関わることになり，人手を出すことが難しい。

#### ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会の役員は任期1年で4年までの継続を限度とした。12月に次の年度の計画を示す予定であり，翌年の3月には決定する。各事業に対して「やめたほうがよい」という意見は出るが，結局踏襲してしまう。

#### ふるさと協議会役員

- ・町会としてのふるさと協議会や市との関係を，町会内にもご理解いただけるように回覧している。
- ・「ボランティア活動は素晴らしい」という講座を市が設けて担い手の発掘をして欲しい。

#### ふるさと協議会役員

- ・他のふるさと協議会と比べての藤心ふるさと協議会の弱みと強みを教えて欲しい。

#### 柏市職員

- ・ふるさと協議会で夏祭りを実施していることが素晴らしい。町会単体で出来なくなったことをふるさと協議会がきちんと受け止めている(活動上の強み)。
- ・地域性としては，住んでいる方々の中の生活に関する意識や感覚が近いので，まとまりやすいのではないかと思う(地域性の強み)。
- ・問題意識を持たれて熱い議論が出来ることも大きな強みである。
- ・担い手不足が弱みと言えると思うが，それはどこのふるさと協議会でも同じことが言えるだろう。

#### ふるさと協議会役員

- ・講座の実施についてはふるさと協議会で行うことが現実的。近隣

	<p>センターと共催で開くことがいちばん良いと思う。スキルを持っている方に講師になってもらい、定期的を開催していきたいと考えている。</p> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の面では、柏市は南三陸町とのつながりがある。実際の災害時に町会がどの様に町と関わり動いたかについての話を聞くので、皆さんにお伝えしたい。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会費を払わない方への説得方法を知りたい。町会費の使い道を示せていない。</li> <li>・地域支援課やふるさと協議会がどのような活動をしているのか知らない方が多いので、うまく伝えていくこと大切だと思う。</li> </ul>
<p>いただ いたご 意見の まとめ</p>	<p>主に次のような御意見を伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足にはいい人を集めることが必要だが、70歳まで働いている現状を考えると難しい。</li> <li>・町会長の負担（民生委員の推薦など）が大きいため、負担を軽減することが必要。</li> <li>・ふるさと協議会の役割、防災面での役割についての説明が必要。</li> <li>・ふるさと協議会や町会のメリットをどう伝えるかが大切。</li> <li>・ふるさと協議会事業の振り返りが必要。</li> <li>・地域の高齢化対策の1つとして、ふるさと協議会で空家を利用してサロンを作ることを検討していく。</li> <li>・ボランティア育成講座をふるさと協議会と近隣センターの共催で検討していく。</li> <li>・町会長の引継ぎ（マニュアル化等）をきちんとすることで不安や負担の軽減につなげる。</li> <li>・町会に対する住民の方の信頼が得られず、町会と住民の断絶してしまっていることについては、市としても町会の役割を発信していくことが必要。</li> <li>・町会に入る人のメリットとデメリットを考えた時に、町会がなくなることの不便さを伝えることも有効。</li> <li>・町会のイメージや内容を変えていく必要性については、海外のコミュニティも参考にした方が良い。</li> <li>・K-net が実際にはなかなか機能できておらず、名簿の管理方法など</li> </ul>

	<p>プライバシーの問題は町会では扱いきれない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・色んな課題がどんどん地域に下りてきており、受け止めきれなくなっている。</li></ul>
--	---